



Global Studies Initiative
The University of Tokyo

グローバル・スタディーズ・セミナー
「グローバルスタディーズの課題」シリーズ

第3回

「共感とチャリティの文化史研究と グローバル化時代の課題」

大石和欣

東京大学大学院総合文化研究科教授（言語情報科学専攻）

司会 伊達聖伸（総合文化研究科 地域文化研究専攻）

討論者 國分功一郎（総合文化研究科 超域文化科学専攻）

田辺明生（総合文化研究科 超域文化科学専攻）

馬路智仁（総合文化研究科 国際社会科学専攻）

日時・会場

2020年6月30日（水） 14:55-16:40

Zoom（前日までに下記GoogleFormに記入した方に
アクセス方法をお知らせ致します。）

Google Form: <https://bit.ly/3bLamwH>

趣旨

17世紀末からの金融資本の流動化、商工業の発展、消費の活性化は貧富の格差を決定的にした。これまでの研究が救貧法施工の実態やチャリティのあり方を同時代的文脈のなかで精査してきたのに対し、本発表はグローバルな資本や労働、モノ、情報の移動を通して構造的に生じる貧困や奴隷制の中で、「共感」や「チャリティ」を再検討する。

使用言語 日本語

主催 東京大学グローバル地域研究機構(IAGS)

【問い合わせ先】



グローバル・スタディーズ・イニシアティヴ(GSI)事務局

駒場キャンパス14号館2階205号室

contact@gsi.c.u-tokyo.ac.jp

<https://www.gsi.c.u-tokyo.ac.jp/>